

ミュシャ・スタイル

M U C H A S T Y L E

花の宴



2021 **11.20** SAT - **2022 4.3** SUN

【開館時間】 9:30～17:15 (入館は16:30まで) 【休館日】 月曜日(休日の場合は開館)、
休日の翌日(11/24、1/11、2/24、3/22)、年末年始(12/29～1/4)、展示替臨時休館日(2/1・2)
【観覧料】 一般 510円/高校・大学生 310円/小・中学生 100円
※小学生未満、堺市内にお住まいの満65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方と介助の方は無料。
※20人以上の団体は割引料金適用となります。事前にお問い合わせください。※その他各種提携割引制度があります。

【主催】 公益財団法人堺市文化振興財団/堺 アルフォンス・ミュシャ館 【後援】 在堺チエコ共和国名誉領事館、堺市教育委員会 【協力】 日本玩具博物館、OGATAコレクション
〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200 ベルマージュ堺式番館(JR堺駅下車徒歩約3分) 【TEL】 072-222-5533 【FAX】 072-222-6833 【HP】 <https://mucha.sakai-bunshin.com>

堺 アルフォンス・ミュシャ館

「あなたのデザインの繊細さ、構図の独創性、素敵な色、これらすべてがパリの人々を魅了するでしょう。」

〈サラ・ベルナルの言葉〉



①



②



③

1895年1月1日、ミュシャが初めて制作したポスター《ジスモンダ》は、たちまちパリで話題になりました。等身大に描かれたサラ・ベルナルはまるで舞台から抜け出てきたよう。一見すると装飾的に見えるモチーフや文字の配置には、人の視線を意識した細やかな意図も感じさせます。その後のミュシャのポスターに続くこの手法は、1900年頃にはすでに“ミュシャ・スタイル”と呼ばれ、今も人々を魅了しています。本展ではミュシャの代表的なポスター作品を中心に、下絵や《装飾資料集》を始めミュシャ・スタイルの手引書も紹介。モチーフや構図、ミュシャのデザイン論も紐解きながら、皆様を“ミュシャ・スタイル”の世界へ誘います。



⑦



④



⑤



⑥

テーマ展示



a



b

ミュシャが描いたクリスマス

2021.11.20[土]-2022.1.30[日]



d



e

チェコ人、スラヴ人、そしてクリスチャンとしてのミュシャのルーツにふれる

ミュシャとスラヴの民族文様
スラヴ諸国のイースターエッグとともに

2022.2.3[木]-4.3[日]

ミュシャの作品からクリスマスや復活祭のモチーフ、民族文様に注目し、日本玩具博物館の世界的クリスマスコレクション、イースターエッグコレクションと合わせて展覧します。お国柄、地域色あふれる世界の祝祭の違いもお楽しみください。

a 《モラヴィアのクリスマス》/1891/OGATAコレクション b きびがら細工のキリスト降誕人形/1980年代/チェコ/トウモロコシの皮
c パン細工のツリー飾り・天使/1990年代/チェコ/小麦粉 d 《スラヴの民族衣装を着た少女》/1930/鉛筆、紙/堺 アルフォンス・ミュシャ館(堺市)蔵
e モラヴィア地方のイースターエッグ/1930年代/チェコ・モラヴィア地方/鶏の卵殻 b, c, eは日本玩具博物館蔵

- ①《ジスモンダ》/1895/リトグラフ、紙
 - ②《トラビスティヌ》/1897/リトグラフ、紙
 - ③《トラビスティヌ<下絵>》/1897/鉛筆、木炭、紙
 - ④《ランスの香水「RODO」》/1896/リトグラフ、紙
 - ⑤《ジョブ(1896)》/1896/リトグラフ、紙
 - ⑥《ウェイヴァリー自転車》/1897/リトグラフ、紙
 - ⑦『装飾資料集』図54/1902/リトグラフ、紙
- 全てアルフォンス・ミュシャ作
堺 アルフォンス・ミュシャ館(堺市)蔵



〒590-0014
大阪府堺市堺区田出井町1-2-200
ベルマーチェ堺式番館
TEL)072-222-5533 FAX)072-222-6833
HP)https://mucha.sakai-bunshin.com



JR阪和線
堺市駅下車
徒歩約3分

ミュシャ・スタイルに親しむワークショップも開催します。くわしくはHPで!

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための入館条件があります。予めHPで内容をご確認の上ご来館下さい。
本展に関連するイベントは、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、状況により中止または延期にする可能性があります。

堺 アルフォンス・ミュシャ館